

令和 8 年 8 月 10 日
厚木市報道資料

被災地から講師招き 3D デジタルマップを活用 厚木南地区で復興まちづくり訓練

被災地の教訓とデジタル技術を掛け合わせ、市民が災害からの事前復興を“自分ごと”として考える機会として「復興まちづくり訓練」を実施します。

1 日時

8 月 22 日（土） 13 時～15 時 15 分

2 場所

厚木南公民館 2 階・集会室（旭町 2-4-18）

3 概要

厚木南地区の住民を対象に「あつぎ 3D デジタルマップ」を活用した災害リスクや災害への備えを考える機会を設け、復興を事前に考えるまちづくりへの理解を深めます。

（1）対象

厚木南地区の市民、自治会防災担当など 50 人程度

（2）内容

ア 講話 「被災地のリアルな教訓から学ぶ」

イ 講師 愛媛県西予市職員（2018 年 7 月西予市豪雨災害時の危機管理課長で現教育部長）

ウ 内容 ワークショップ「あつぎ 3D デジタルマップ」の操作とグループ討論、バーチャルリアリティ（VR）で浸水被害を疑似体験

4 PR したい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・本市では 23 年 3 月策定の「防災都市づくり計画」に基づき、復興に向けた訓練の実施を最重要課題に位置付けています。
- ・市民が被災前から復興を考え、グループで最優先事項などを討論。「あつぎ 3D デジタルマップ」を操作し、自宅の災害リスクも確認・議論します。
- ・豪雨災害を経験した西予市職員を招き、災害の悲惨さと復興までのプロセスを講義します。
- ・神奈川工科大学が開発した浸水 VR を用いて、参加者が VR ゴーグルで避難の難しさを疑似体験します。

本資料の問い合わせ先

都市みらい部 都市計画課

課長 吉田 清彦 電話 046-225-2406